④　まごころワイン　プロジェクト　　募集人数:1名

【プロジェクト概要】

2011 年に発災した東日本大震災の際に遠野市は後方支援拠点として、官民連携した被災地支援の取組を行いました。その中でも全世界から延べ 10 万人以上のボランティアを受け入れ、数多くの被災地支援を行った NPO 法人遠野まごころネット。

震災の後に被災地では、人口に対する障がい者の比率が高くなり、沿岸被災地での障がい者に対する支援の必要性を感じ、大槌町・釜石市に障がい者就労支援センターを開設。平成 24 年には釜石就労支援センター横にぶどう園を開設し、ワイン製造・販売に着手、農福連携を掲げ、農作業と福祉の連携に取り組んでいます。

平成 28 年には、遠野市内にもワイン用ぶどう園を、平成 29 年には、自前のワイン醸造所を開設し、以来遠野市内で唯一のワイン製造を行っています。遠野市内のぶどう園にも農福連携の経験は生かされており、様々な場面で障がい者の皆さまと一緒に作業を行っています。

遠野市の気候はぶどう栽培に大変適しており、現在 2,000 本の苗木を栽培。複数種類のぶどうを栽培しております。ぶどう栽培及びワインの製造・販売には、大手小売り事業者と共同しており、遠野市外での販売をメインとして行っております。利益は、障がい者への就労の場の提供に使われ、これからも安定した支援を行うためには、更なるワイン事業の充実が必要であります。

そのためには、今後更なるぶどう園の拡大（目標は 5,000 本）を行い、ワインの生産量を現在の３倍程度まで増やすことを当面の目標に掲げております。また、生産量のみならず、品質の更なる改善を行うことで、新規顧客及びリピーターの獲得を図ります。

今回の募集では、ぶどう栽培の現場の改善及びワイン製造現場の改善を行う方を募集します。遠野まごころネット本部・遠野まごころ就労支援センター・協力していただく民間企業の皆さまと連携を取りながら進めていただきます。

日本のワインは全世界から注目を集めております。ぶどう栽培にも適した岩手県は、種類が豊富でワインの評価も高く、今後益々の伸びが期待できます。遠野から世界へ！遠野市の新たな産業を切り開くお手伝いをお願いします！一緒に未来を切り開きましょう！

【パートナー】

氏名：荒川栄悦（NPO 法人遠野まごころネット　理事）

河童の聖地遠野市土淵町出身在住。地域の課題解決を通して活力ある遠野市づくりを目指す遠野市議会議員でもあります。文学を愛し、郷土の発展・保全に力を尽くしています。遠野まごころネットでは全体の事業はもちろんですが主にぶどう畑を守っています。

【求める人物】

・ぶどうつくりからワイン製造までを一括で行ってみたい方

【ミッション / ロードマップ】

１年目　ぶどうづくりの基礎、ワイン製造の基礎

２年目　ぶどう園の拡張作業、ワインの品質向上の研究

３年目　ぶどうの品質向上の研究、ワインの品質向上の研究

地元とともに愛されるワイン作りを続けていただけることを望みます。